

## むつ市地域おこし協力隊活動状況報告書

むつ市長 宮下 宗一郎 殿

隊員氏名 大崎 祐暢

次のとおり活動したことを報告します。

【活動報告月：2022年8月分】

### 5. 実施した活動の概要・状況

8月になり、着任から1か月が過ぎた。小学生の夏休みに合わせて磯での観察学習会や海の家営業、豪雨災害によるヤマメの養殖場の復旧作業の手伝いなど、フィールドでの活動に積極的に参加した。かわうち・まりん・びーちに併設されている「海の家」では、遊びに来るお客様の笑顔を引き出すために7月同様に営業を行い、さらに需要に答えるべくアイスの販売の導入など地域のためになる活動に励んだ。

川内町の活性化を図るために設立された任意団体『Reborn かわうち』では、オリジナルTシャツの作成担当や9月10日に行われるライトアップフェスイベントの体験関係の担当も務めている。今後はライトアップフェスイベントの実施と振り返り、さらに脇野沢地区にも活動範囲を広げて地域の活性化に貢献できる環境を整えていきたい。

#### （主な活動）

◇8月4日（木） 海のごちそう地域モデル in 大間 「津軽海峡 海の子アカデミー」

津軽海峡のフィールドで2日間にわたって開催された、「津軽海峡 海の子アカデミー」にお手伝い講師として参加した。

大間崎の下方にある磯で生き物の採集、観察会を行い、生き物の種類や生息場所を解説した。大間崎の磯は川内の磯に比べてアマモの割合が少なく、ごろた石の割合が多い傾向にあり、生息する生き物も種類が多いように思えた。その後、海のゴミ問題の解説を行った。

今回、地域おこし協力隊になって初めて人前に出てマイクをもって解説をする経験をした。状況と年齢層と表情を見て、その場にあった解説を極めていきたいと思った。



#### ◇8月12日（月） ヤマメ養殖場復興ボランティア参加

豪雨によるヤマメ養殖場の復興ボランティアに参加した。

12日から2日間復興作業に従事し、翌日の3日目にはボランティアを募り、活動をした。豪雨によって建物がそのまま流されていたり、土砂で通路や生け簀が埋まっていたりと、豪雨の恐ろしさを感じると同時に、人と人との協力や思いやりなどを感じることができた3日間であった。

この活動を通して、改めて「つながり」の大切さを実感するとともに、自分一人ができることの少なさを痛感することができた。

今後は地域とのつながりをさらに強くしていくとともに、自分のできることを増やすためにもさまざまな活動やイベントに参加し、経験と引き出しを増やしていきたいと思った。



#### 6. 翌月の活動予定

9月は夏休みが終わるものの、むつ市海と森ふれあい体験館でのイベントや町内の祭りなど、屋外での活動がのこっている。笑顔とやる気と元気で地域おこし協力隊として地域の活性化に努めていきたい。また、10月以降に行われる催事の準備がある。脇野沢地区にも活動範囲を広げ、自分のできることを増やすために精進していきたい。

9月1日 近川中学校職場体験 担当（～2日）

9月9日 ライトアップフェス 体験担当（～10日）

9月11日 ホタテフェスティバル